

# 青少年だより

神崎市青少年育成市民会議

## 地域の心を動かした子どもたちの声 ～第4回 地区子育て懇談会～

神崎市青少年育成市民会議では、第4回地区子育て懇談会を7月8日から10日まで開催しました。

地区の役員、市民会議役員、学校、地区の皆さんのご協力をいただいで熱心な話し合いがなされ、有意義な懇談会となりました。

今回の懇談会では、次の4つの柱で話し合いをしました。

- 柱1 地区の重点実践目標の反省
- 柱2 子どもたちのアンケートをもとに家庭のしつけや地域の協力・支援について話し合う。
- 柱3 今年度の重点実践目標の決定
- 柱4 小・中学校からの報告



▲城原地区の懇談会の様子

### 1. 地区の重点実践目標の反省

#### ○あいさつ・声かけ運動

- ・子どもたちのあいさつがとてよくなった。
- ・小・中学生は、自分たちから元気なあいさつができていて、とても気持ちがいい。
- ・大人があいさつをすると、子どもから元気なあいさつが返ってくる。
- ・あいさつ・声かけ運動は子どもの方が積極的。もっと大人から声をかけよう。

顔見知りの人にはよくあいさつをする。

・あいさつをすることで顔見知りになり、子どものあいさつが増えた。

・中学生、特に部活動の子どもが元気なあいさつが気持ちいい。

・大人からの声かけが少ない。もっと声をかけて顔見知りになろう。

・地区内のあいさつはよくできている。

・家庭内でのあいさつができていない。あいさつは家庭からしつけよう。

#### ○ノーテレビデーの実施

・ほとんど実施できていない。

・食事中はテレビを消すことはよくできた。

・ノーテレビデーは各家庭で努力している。

・ノーテレビデーは概ねできている。

#### ○地域の安全を守る方策

- ・交通事故0運動はよく守れた。
- ・一戸一灯運動はよく協力して

もらって助かっている。

・地区の見守り隊によく協力してもらった。

・見守り隊の結成と実行で子どもたちの安全が守れた。

#### ○町や地区の行事への積極的参加

・地域の行事に家族で参加するように呼びかけたが、参加者は限られていた。

・大人と子どもの交流は、大人の参加が少なかった。

・地域のふれあいを深めるように、行事を工夫して継続している。

・ラジオ体操や地域の行事によく参加している。

#### ○親子花いっぱい運動、地域と子どものふれあい運動

・小学生がほとんどだった。子どもたちと地域の人との交流ができた。

・地区のみんなで花壇作りに取り組んだ。

#### ○基本的な生活習慣

- ・各家庭でしっかり取り組んでいる。

### 2. 今年度の地区の重点実践目標

あいさつ・声かけ運動 (94地区)

子どもとのふれあいを持つ (9地区)

地域の環境美化、ゴミ・ノーポイ運動 (8地区)

地域の行事に積極的に参加する (8地区)

交通安全、交通ルールを守る (7地区)

ノーテレビデーの実施 (6地区)

子どもを地域で守る (5地区)

親子のふれあいの時間を持つ (3地区)

見守り隊の取り組み (3地区)

手伝いをする (2地区)

一戸一灯運動 (2地区)

一日一善 (2地区)

花いっぱい運動 (2地区)

基本的な生活習慣を身に付けさせる (1地区)

早寝、早起き、朝ごはん (1地区)

オアシス運動 (1地区)





### 3. 「地区子育て懇談会」の新たな取り組みについて

- ・今年度は、次の5つのことに新たに取り組み、その結果について、懇談会の班長と各地区の青少年育成推進員にアンケートをとりました。
  - ・チラシの全戸配布
  - ・少し効果があった。
  - ・子どもたちのアンケート活用できた。
  - ・PTA役員の協力
  - ・よく協力してもらった。
  - ・子どもの参加
  - ・数名参加した。
  - ・司会者は地区で決める
  - ・よかった。
- 以上のような回答が半数以上となり、概ね好評でした。

### 地区子育て懇談会の出席率ベスト20

順番	地区名	出席率
1	曾根ヶ里	142.1
2	野寄	133.3
3	戸井土	112.5
4	小鹿	90.0
5	大門	85.7
6	柴尾	82.9
7	三谷	80.0
8	上地	79.2
9	伏部	78.6
10	又南里	76.2
11	林慶	69.2
12	中津	66.7
13	下板	63.9
14	大石	63.6
15	上六丁	62.5
16	馬郡	62.2
17	上黒井	60.9
18	池辺田	58.8
19	猪面	58.1
20	仁戸田	57.9

### 4. 懇談会について

○懇談会のために地区で工夫した点

- ・会の運営を地区の役員で事前に打合せをし、役割りを決めた。
- ・地区独自のチラシを作った。戸に配った。
- ・放送で参加を呼びかけた。
- ・各家庭に参加のお願いに回った。
- ・子どもクラブやPTAの役員が保護者に参加を呼びかけた。
- ・老人会・婦人会に参加をお願いした。
- ・子どもクラブの会長に司会をしてもらってよかった。

○全般的な気づき

- ・参加者が少ない。参加者が増える方策を検討したい。
- ・保護者の参加が少ない。
- ・父親の参加が少ない。
- ・子どものいないところの参加が少ない。
- ・子どもたちの参加は活気があってよかった。



- ・子どもを参加させるなら、曜日や時間を検討してほしい。
- ・子どもたちのアンケートは、子どもの気持ちがあわかってよかった。
- ・懇談会がマンネリ化している。
- ・懇談会を有意義なものにするために、地域が対応を工夫する必要がある。



### 前進する

#### 「地区子育て懇談会」

今回の「地区子育て懇談会」は、各地区の役員さんの熱意や新たな取り組みの導入で、多くの効果を上げることができました。

- ・参加者が前年度に比べて400名以上増えました。
- ・子どもクラブやPTA役員の方の呼びかけで、保護者の参加が増えました。
- ・子どもが参加した地区は、子どもの発言などで盛り上がりました。
- ・アンケートの結果から子どもたちの地区への思いが伝わり、気持ちの交流ができました。
- ・地区の人が子どもたちのために何かしなければという気持ちが強くなりました。
- ・懇談会をより有意義なものにするために、事前の準備や参加者を増やすための呼びかけの工夫などをする地区が増えています。実りある話し合いができています。
- ・地区で決めたことを積極的に取り組み、成果を上げています。

今後とも青少年の健全育成にご理解・ご協力をお願いします。